

令和6年度 第1回江別市行政改革推進委員会 会議録（要点筆記）

日 時：令和6年7月22日（月） 14：00～14：35

場 所：江別市民会館 会議室21号

出席委員：千里政文委員長、吉川哲生委員、福沢康弘委員、西懸昭子委員、鈴木貢委員、
富田京子委員、小野秀司委員、亀田教子委員（計8名）

欠席委員：野村奈津子委員、野澤瞭太委員

事務局：企画政策部 三上部長、伊藤次長
政策推進課 嶋中課長、但馬参事、川村主査

傍聴者：なし

会議概要

1 開会

2 議事

（1）江別市行政改革大綱（案）及び江別市行政改革推進計画（案）に係る意見公募（パブリックコメント）の実施結果について

事務局から資料に基づき説明

- ・江別市行政改革大綱（案）及び江別市行政改革推進計画（案）に係る意見公募（パブリックコメント）の実施結果と市の考え方について（資料1）

【質疑】

○富田委員

1番の意見にあるマイナンバーカードについて、江別市の国民健康保険に加入している高齢者のうちマイナンバーカードをつくった方は何割くらいか、わかる範囲で伺う。

○事務局

国民健康保険加入者の数字は把握していないが、江別市全体の交付率は、令和5年度末で73、4%と承知している。

○富田委員

年代別の数字はわかるか。

○事務局

数字は把握していない。

○富田委員

個人情報なのでなかなか聞くことはできないが、私の地域に住む独居高齢者のうちのくらいの方がマイナンバーカードをつくり、マイナポイントで買い物できたのかと思っていた。

○千里委員長

富田委員と同じく、私も高齢者のうちのくらいの方がマイナンバーカードをつくることができたのか心配していた。コロナ流行時は、施設に入っている方などは家族も会

うことができず、カードをつくりたくてもつukれない例があったと思う。マイナンバーカードは、自宅で確定申告ができるなど大変便利な面があるが、デジタル化が進み、多くのことはスマートフォンでできるようになってもスマートフォンを持っていない方もいる。江別市だけの問題ではないが、デジタル化に対応できない方に対し、今後、市としても何かしら対応しなければならないのではないかと感じている。

国では国民すべてがマイナンバーカードを持つことを目標に進めており、年代別の普及状況なども把握することが重要だと思う。

○小野委員

マイナンバーカード導入時は、個人情報の問題などの議論があったが、実際に使ってみると自宅で確定申告ができるなど便利である。引越しをした際も、転出先ではカードの住所変更などで役所に行かなければならなかったが、転出届はマイナポータルというサイトを通し簡単に手続きができた。転入届で役所に行かなければならない点や保険証として使用する際の手続の面でもう少し便利になればよいと感じたが、マイナンバーカードを持っていることで利便性が高まっていることは事実であり、それらのことについて、もう少し周知した方がよいと感じる。

○千里委員長

マイナンバーカードがあれば、コンビニエンスストアで様々な証明書が取得でき便利な面もあるが、カードを申請し受け取る際は市役所に行かなければならず、病院や施設にいる方は取りに行けるのか心配していた。保険証については、マイナンバーカードを持っていなくても代わりとなるものが発行されると聞いているが、手続など分からない方も多いと思う。保険証の対応も含め、マイナンバーカードの便利な面等を周知することが必要だと思う。

先ほど高齢者のマイナンバーカードの普及状況について話があったが、市として何か検討する際には国の様々なデータを活用できると思う。

ほかに意見はあるか。

○小野委員

3番の意見の趣旨は非正規職員の待遇改善であるが、以前、私も職場環境に関し、正規職員と非正規職員の格差があるために職員の士気が下がる、人間関係がうまくいなくなる例などがなかった記憶がある。

市の考え方に、会計年度任用職員は1年の縛りがあると記載されているが、非正規職員から正規職員になる道はないということか。

また、非正規職員の中には特殊な技能や資格を持つ方もおり、そのような方を必要とする部署に適宜採用することが必要と考えるが、柔軟に対応することはできないのか。

これらも含め、この意見に対する取扱区分をCとしている理由を伺う。

○事務局

初めに、非正規職員から正規職員になるケースであるが、正規職員は試験を受けることになるため、非正規職員、いわゆる会計年度任用職員が受験し正規職員になるケース

はある。

次に、特殊な技能や資格等を持っている者の任用について、資格の有無にかかわらず会計年度任用職員は基本的に1年更新であるが、資格や技能がある方が必要な場合は、現在、市には3年経過すると再受験し最大6年継続できるというルールがあり、その中で柔軟に対応している。

最後に、取扱区分をCにした理由であるが、働きやすい環境づくりという面では新たな行政改革大綱の内容と趣旨は一致しているが、非正規公務員の処遇改善を求めると意見に記載されていたことから、大綱案に反映しないが今後の行政改革の取組の参考にしていくということでCとしている。

○千里委員長

確かに公務員は国などの制度があるため難しい面もあると思うが、公平性についてはしっかり対応していかなければならず、改善していくことが非常に重要と感じている。

○事務局

委員長からも話があったが、公務員の任用については法令の定めがあり、一自治体の取組だけでは難しい面もあることから、そのようなことを含めてCの区分にしていることを補足する。

○千里委員長

意見にも明確に公務員と記載されていたため、その部分がCになった理由と理解した。

私から2番のパブリックコメントに関する意見について触れるが、寄せられる件数も決して多くはないことは事実であり、これはもっともな意見であると感じる。我々が議論してきた行政改革大綱はとても重要なものであり、市民の皆さんも興味がないわけではないと思っているが結果的に意見は3件であった。LINEなどの様々な手法で周知していると理解するが、市民に本当に情報が届いているのか気になる点もあるため、さらに知ってもらう方法について検討してほしい。

ほかにあるか。(なし)

それでは、本日の配付した資料2の行政改革大綱案及び資料3の行政改革推進計画案を最終案としてよろしいか。(了)

3 その他

○小野委員

大綱と推進計画に公民連携の検討と記載されているが、先日、千葉県の鎌ヶ谷市にある日本ハムファイターズの2軍施設が老朽化に伴い北海道に移転するというニュースがあり、現段階で詳細はわからないが施設は公設民営で行うと報道されていた。市長も面白いと発言したと報道されていたが、このことは市民にとっても大きな関心事であり、財政問題や人口問題、交通アクセスにも影響が出てくる話だと思っている。今後、具体的な話になった場合、市民の声を聞く場なども設けてほしい。

○事務局

7月13日の北海道新聞朝刊に移転構想があるという記事が出ていたが、情報がどこから出てきたのか不明である。ただ、記事には移転候補地として江別市も含まれていたことから、事実であればそれほど遠くない時期に具体的な話があると思っている。今後、具体的な話があれば真摯に検討していきたい。

○千里委員長

私もおもしろい話だと感じている。北広島市には様々なものが建設され、江別市民としては羨ましい、頑張っているなという気持ちでいた。そのような話があれば、市が活性化すると思うことから検討していただきたい。明るい話題を聞くことができ嬉しく思う。

ほかにないか。(なし)

○事務局

本日報告した意見募集の結果と市の考え方は、今後、市ホームページ等で公表し、大綱案及び計画案は8月中に正式に決定する予定としている。

次回の会議は、10月頃を予定している。決定次第連絡する。

4 閉会